

病院ボランティア活動の心得

岐阜市民病院

病院ボランティアとは

初めて病院を訪れたとき、受付は？ どこへ行けばいいの？ と戸惑ったことはありませんか？ そんなとき、案内をしていただける人がいたら、ホッとするやすらぎのひとつを感じます。

当院では、患者さんに、医療とは違った立場から、少しでも心のやすらぎを得ていただける環境づくりができればと思っています。

そうした環境づくりを担う、思いやりとやさしい気持ちで援助していただく活動です。

病院は、患者さんやその家族の方など大勢の人が集まる特殊な場所です。

従って、他のボランティア活動とは、異なるいろいろな制約がありますので、次のような事柄について、ご留意くださるようお願いいたします。

服装等について

- (1) 清潔で動きやすい被服の上に、規定のエプロンを着用し、ボランティア許可証を胸につける。
- (2) 靴は、かかとの低い、音のしないものを履く。
- (3) 髪は、きちんとまとめる。
- (4) 爪は短くし、香水、化粧品、アクセサリー、マニキュア等は控えめにする。

患者さんへの接し方について

- (1) 患者さんのプライバシーに配慮し、ボランティア活動中に知り得たことは、他言しない。
- (2) 常に患者さんには公平に接し、特定の患者と個人的に親しくならない。
- (3) 患者さんから病気、薬、その他院内のことについて聞かれた場合には、自分の判断で応えず、「ボランティア」であることを伝え、看護師などの医療従事者に連絡する。
- (4) ボランティア同士の活動中の私語は慎み、患者さんに対して無責任な対応や気持ちを不安がらせるような対話はしない。
- (5) 常に笑顔と明るい態度を心がけ、丁寧な言葉づかいで接する。

活動について

- (1) ボランティア活動保険に加入して下さい。
- (2) 活動は、無償です。
- (3) 活動にあたっては、開始時間、退出時間、活動内容、連絡事項などボランティア日誌に記録する。
- (4) 具体的な活動にあたっては、職員と相談して下さい。

その他

- (1) 患者さんの安全を図り、常に事故防止に努める。
- (2) 活動の前後の手洗い、うがい等励行し、自分自身の健康に充分気をつける。
- (3) 自分の体調の悪いときは、患者に接しない。
- (4) 患者さんに対して、病気に関すること、とくに迷信的な話をしない。
- (5) 走る、大声で話すことは慎む。